



つな
がる
安心
ひ
ろ
がる
未
来

西予宇和IC
SEIYOUWA

三間IC
MIMA

宇和島北IC
UWAJIMAKITA

四国横断自動車道

事業概要

四国横断自動車道は、阿南市を起点として高松市、高知市を經由し、大洲市に至る延長約440kmの路線です。四国四県の広域的なネットワークはもとより四国縦貫自動車道、さらには本州四国連絡道路と相まって本州との結びつきを深め、四国における産業、経済、文化の発展に重要な役割を果たすとともに、高規格幹線道路ネットワークの機能強化、及び今後想定される「東南海・南海地震」などによる災害時の代替路としての役割を担う路線です。

宇和島北IC～三間IC～西予宇和IC間は、平成15年12月の国土開発幹線自動車道建設会議において決定された新直轄方式により整備される区間で、平成5年3月より順次開通した宇和島道路（一般国道56号自動車専用道路）と既に開通している松山自動車道に接続します。

事業の経緯

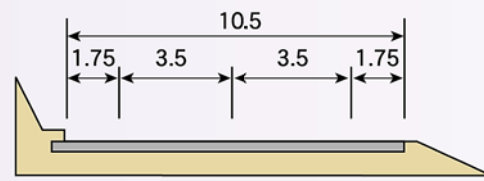
基本計画	平成元年 2月27日
都市計画決定	平成 8年10月22日
整備計画	平成 8年12月27日
測量着手	平成10年 9月
用地買収着手	平成14年 2月
新直轄方式の指定	平成15年12月25日
工事着手	平成16年 3月20日～
開通(2車線暫定)	平成24年 3月0日

整備状況

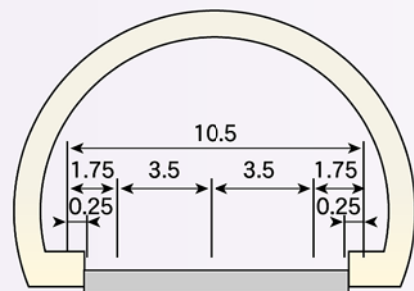
IC名称	宿毛(仮称)	内海	(岩松)高田	津島	宇和島南	宇和島別当	宇和島坂下	宇和島朝日	宇和島北	三間	西予宇和	大洲北只	大洲南	大洲肱南	大洲富士	大洲北	大洲	内子五十崎	伊予	松山
区間距離(km)	約33	10.3	3.5	7.8	27	1.3	2.2	5.4	10.9	15.4	0.8	0.8	2.3	1.9	0.8	7.8	24.0	9.9		
予定路線決定	S62.9.1									S41.7.1										
都市計画決定(整備計画決定)	—			H11.6.11		S59.4.24		(H8.12.27)		(H3.12.3)	S55.4.4		(H1.1.31)		(S61.1.21)					
事業化(施行命令)	—			H17	H9年度		S59年度		(H10.12.25)	(H10.4.8)	(H5.11.19)		S55年度		(H2.12.6)		(S63.1.28)			
構造(設計速度)	—			1-3(80km/h)		1-3(80km/h)		1-3(80km/h)		1-3(80km/h)		1-3(80km/h)		1-3(80km/h)		1-2(100km/h)				
開通年月日	—			事業中	H22.3(2車線暫定)	H10.3(2車線暫定)	H17.7(2車線暫定)	H5.3(2車線暫定)	H24.3(2車線暫定)	H16.4.17	H16.4(2車線暫定)	H18.3(4車線供用)	H14.3(2車線暫定)	H12.7.28	H9.2.26					

標準断面図(暫定2車時)

土工区間

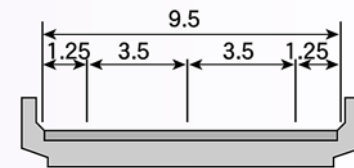


トンネル区間

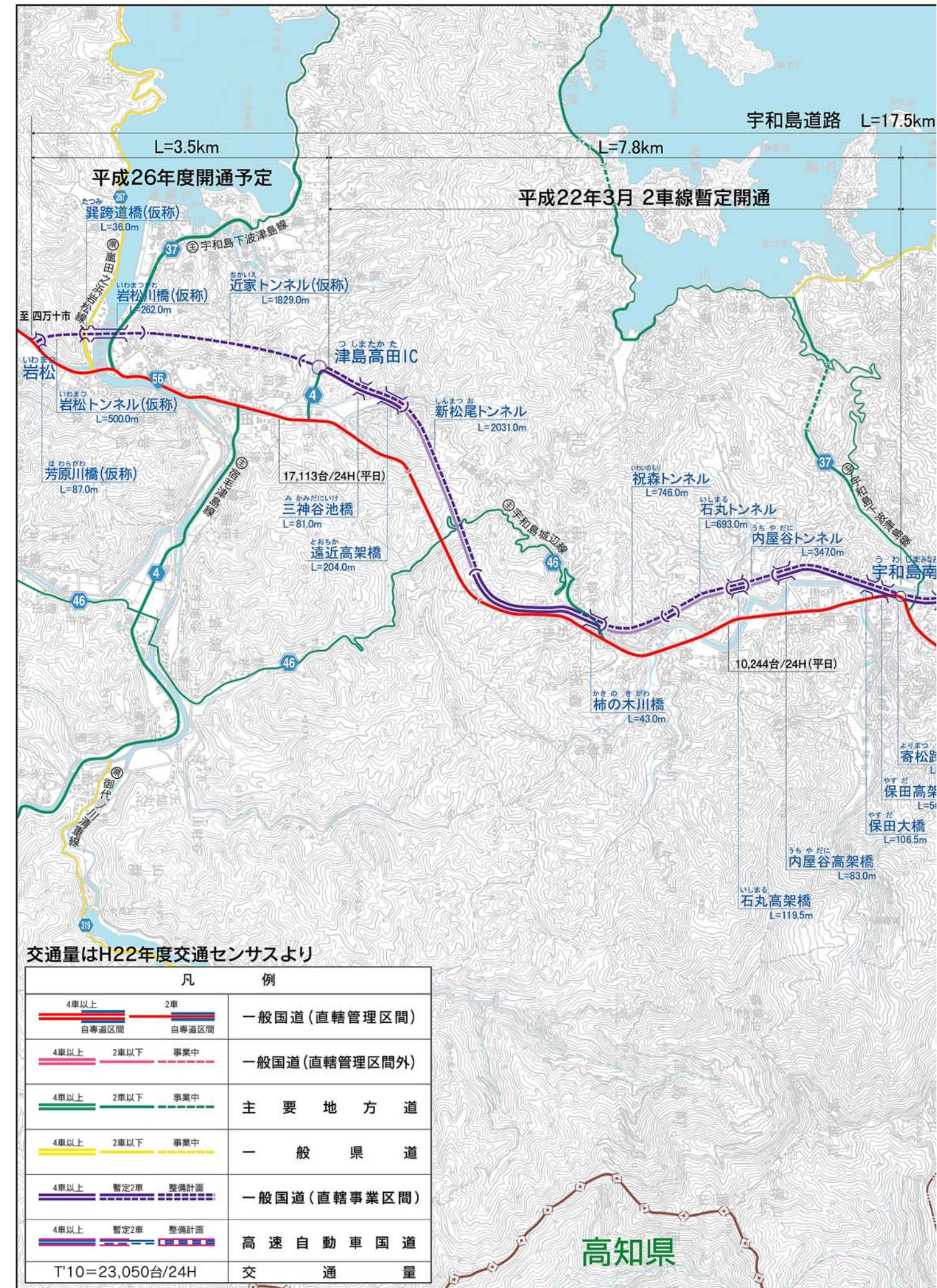
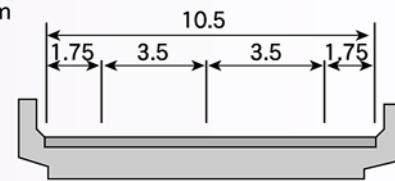


橋梁区間

長大橋 L ≥ 50m

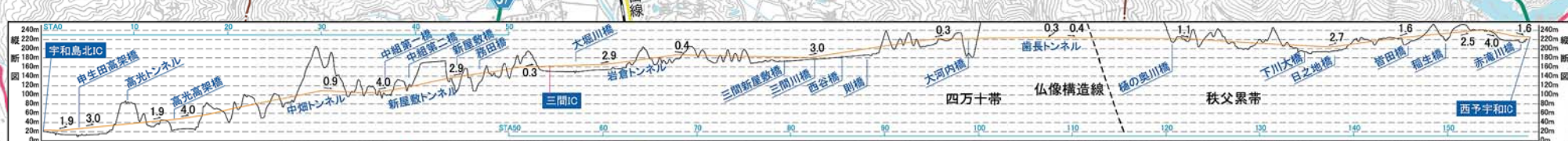
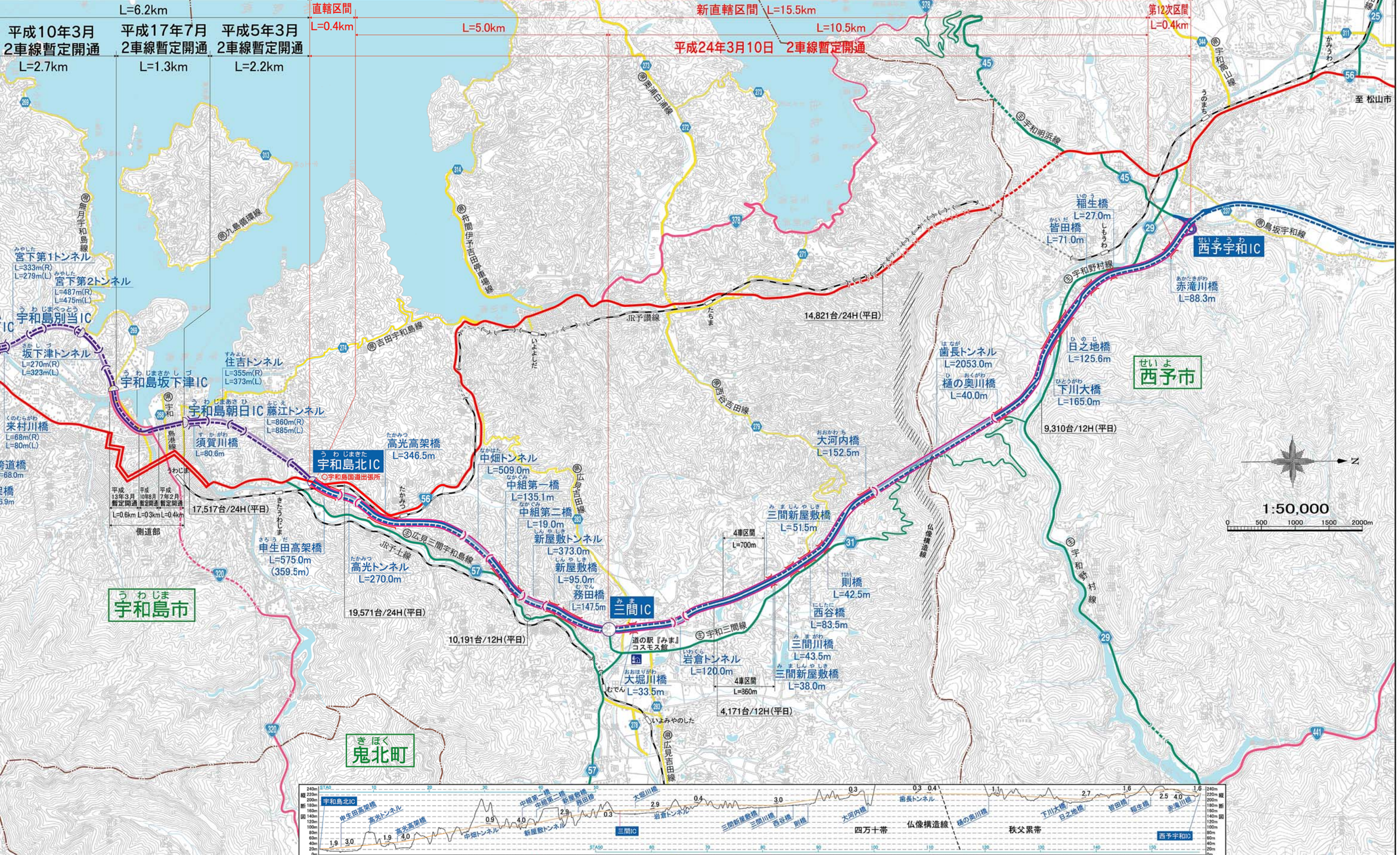


中小橋 L < 50m



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平17四複、第137号)

四国横断自動車道 宇和島北～西予宇和 L=16.3km



高速交通ネットワークが「まち」と「まち」をつなぎます。

近くなる

四国横断自動車道が整備され、宇和島朝日IC～西予宇和IC間は国道56号利用と比べて約20分短縮されます。松山自動車道と高速交通ネットワークがつながる事により、生活圏が拡充し、地域間の交流が活性化されます。



● 宇和島北IC～西予宇和ICの整備による所要時間の変化 ●

宇和島朝日IC～西予宇和IC間の所要時間が約**20分短縮**



※一般道路の所要時間は実測データを使用
高速道路の所要時間は規制速度70km/hを用いて算出

生活を守る道となります。

安心できる



災害時の代替路として活躍します。

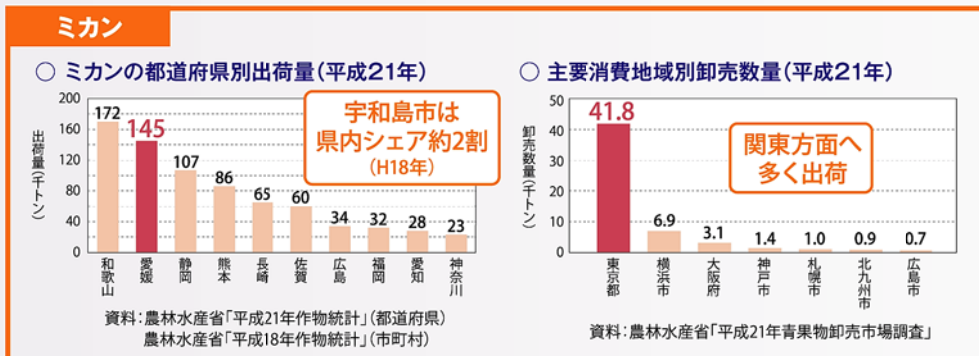
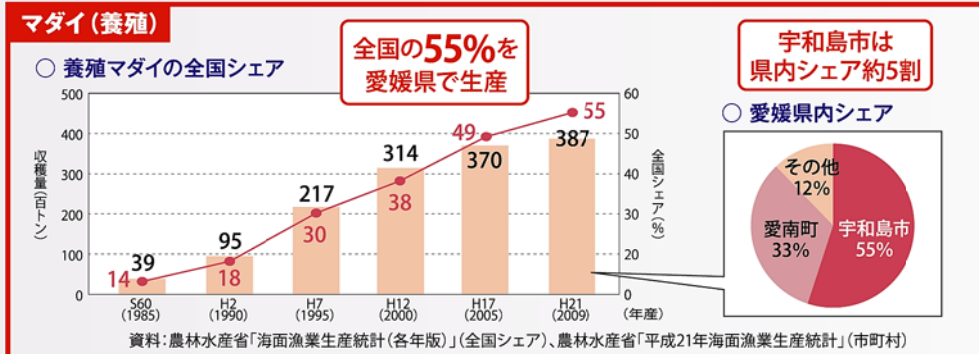
「東南海・南海地震」における国道56号の津波予想浸水区域(宇和島市吉田町)を迂回し、災害時の代替路確保、救助・供給・復旧活動の迅速・安全なアクセスを支援します。

救急医療活動への信頼性が高まります。

南予地域で唯一の三次救急医療施設である市立宇和島病院への搬送時間が短縮され、救命率の向上につながります。さらに、高次医療が受けられる松山市内の医療機関への搬送時間も短縮されます。

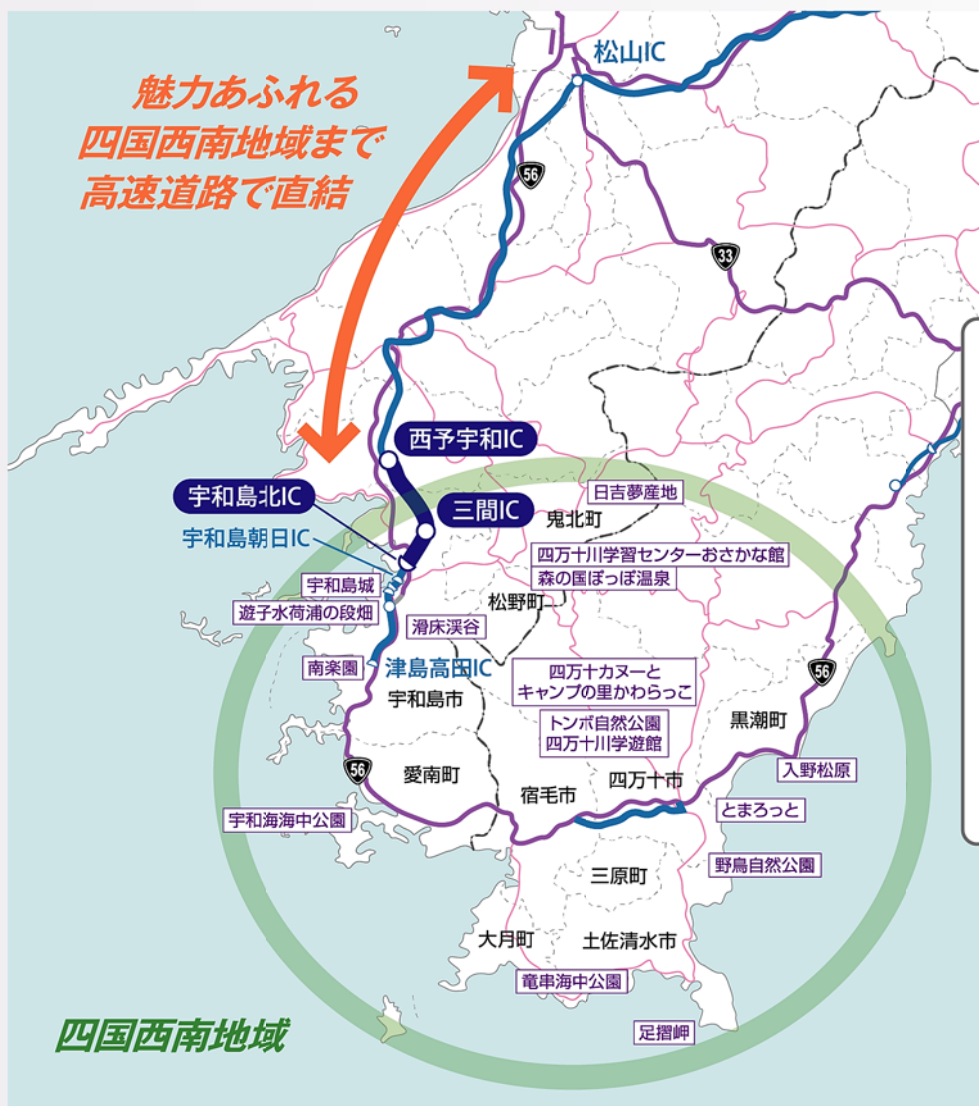
南予地域の特産品出荷を支援し、農水産業の振興に貢献します。

豊かになる



魅力ある観光地への利便性が向上します。

楽しくなる



整備効果

整備効果

高速ネットワークの整備

四国8の字ネットワーク 「命の道」、8の字ネットワークの早期完成を目指して

四国8の字ネットワークとは？

四国四県を結ぶ将来の高速交通ネットワークの愛称です。道路ネットワークを「8の字」にすることから名付けられました。

四国8の字ネットワークの整備目的

- 速達性**
 - 地方の中心都市を効率的に連結
 - 救急医療施設へのアクセス性及び走行性の向上
- 安全性**
 - 東南海・南海地震発生時の緊急輸送道路の確保
 - 豪雨・洪水時においても寸断されることのない安心・安全な道路ネットワークの確立

8の字ミッシングリンクの課題

- 四国の主要都市間の時間距離格差が発生
- 高次医療施設が少なく、県庁所在地等都市部の施設に依存せざるを得ない状況
- 東南海・南海地震による津波浸水区間が集中
- 事前通行規制以外でも災害発生実績があり、道路寸断の可能性が高く、代替路がない



四国横断自動車道
(宇和島北IC～西予宇和IC) **平成24年3月 開通**

宇和島北IC付近

● 高速ネットワークの整備による所要時間の変化 ●

宇和島市	松山市	国道56号 全線利用	2時間20分	
		高速道路利用	1時間40分	40分短縮
愛南町	松山市	国道56号 全線利用	3時間20分	
		高速道路利用	2時間30分	50分短縮

※一般道路の所要時間は混雑時旅行速度(H22センサス)を用いて算出
高速道路の所要時間は規制速度70km/hを用いて算出
高速道路利用ケースは松山市～松山IC間は国道11号および国道33号、
津島高田IC～愛南町間は国道56号を利用するものとして算出

国土交通省四国地方整備局 大洲河川国道事務所 | 〒795-8512 愛媛県大洲市中村210 【TEL】0893(24)5185(代) 【FAX】0893(24)2059(代) 【URL】<http://www.skr.mlit.go.jp/oozu/>

幹線道路の異常を発見したら
道路緊急ダイヤルへご一報ください。
道路緊急ダイヤル #9910 (24時間受付)
※夜間・土曜・日曜・祝祭日は対応出来ない場合もあります。